

# 行 政 報 告

平成20年 福島町議会第1回定例会9月会議の開会にあたり、6月10日開催の6月会議以後の行政報告を申し上げます。

なお、この間の諸行事等の報告については、別紙に印刷のうえ、お手元に配布しておりますのでご了承願います。

はじめに

## ★ 普通交付税の確定について

本年度の普通交付税が8月15日付けで確定いたしましたので、ご報告いたします。決定額は16億6,884万4千円で、本年度当初予算対比で1億1,704万5千円(7.5%)の増、前年度の決定額との対比では1億1,135万円(7.1%)の増となりましたが、増額の主な要因は、本年度から創設されました「地方再生対策費」及びトンネル記念館建設費での過疎債における元金償還額の増、さらには町税等の減収に伴い、増となったものであります。

一方、地方交付税の不足財源の一部を補う臨時財政対策債においては、1億2,574万3千円で、前年度と比較しますと850万4千円(6.3%)の減となっております。

普通交付税と臨時財政対策債を合わせた額では、前年対比で1億284万6千円の増となりましたが、「自立プラン」策定の中での財政運営においては、依然として厳しい状況には変わりなく、今後の執行に当たりましても、さらに事務事業の内容等を十二分に精査しながら効率的な財政運営に努めてまいります。

## ★ 個人住民税における公的年金からの特別徴収制度について

地方税法の改正により平成21年10月から65歳以上の方を対象に、公的年金からの住民税の特別徴収が実施されます。

このことについては、本年の第1回定例議会(5月議会)で関連する町税条例の改正をし、現在実施に向けて準備しているところであります。

実施に当たっては、年金保険者と経由機関「社団法人地方税電子協議会」などと連携することとなるため、税の基幹システムの改修や情報伝達システムの構築が必要であり、これに係る所要の経費を本議会に補正計上しております。

★ まちづくり基本条例の提言について

昨年10月に町民検討委員会を組織し、福島町にふさわしい「まちづくり基本条例」の調査検討をお願いしていたところですが、11回に及び検討を経て、8月19日に条例案の提言書をいただきました。

検討委員の皆様には無報酬で参画をいただき、毎月のように会議を重ねるとともに、町民の理解を深めていただくために2回の町民説明会を開催していただくなど、大変なご苦勞をお掛け致しましたことに心から感謝を申し上げます。

また、その過程において鈴木克也公立ほこだて未来大学教授にはアドバイザーや講演会の講師として、溝部議長には「福島町議会基本条例の考え方」についての講話をいただきましたことに対しましてもお礼を申し上げます。

今後は、いただいた提言書に基づき「まちづくり基本条例」の素案をまとめ、町民への説明会開催やパブリックコメントによる町民からの意見募集などを経て、12月議会の条例提案を予定しております。

★ 町民交通傷害保険の終了について

当該保険引受会社である三井住友火災海上保険(株)から、平成20年6月26日付け文書により当該保険の販売停止通知があり、町においても管内自治体と連携して他の保険会社による存続を模索しましたが、引受会社が無いことから、平成20年9月30日をもって町民交通傷害保険の取り扱いを終了することとし、町広報等により、町内への周知をしたところであります。

★ 特定健診の実施状況について

国保加入者を対象に今年からスタートした特定健診が、6月29日から7月3日までの5日間、各地区の会館などの17会場で実施されました。

全体的な受診者は787人に達し、国保対象者の受診者は695人となり、当初計画の目標数値25%を大きく上回って、受診率は46.7%

となりました。

また、健診後の結果説明会へは、650人の参加があり、町民の健康への関心の高まりを感じたところであります。

★ 戦没者追悼式について

戦後63年目となる今年の戦没者追悼式は、7月14日福祉センターにおいて、70名のご遺族及び関係者の出席を得て行われたところでございます。

★ 前浜漁業について

今年の養殖昆布の採取は8月中旬で終了し、現在は製品づくりの忙しい毎日が続いております。

また、マグロ漁の水揚げは昨年を上回っておりますが、ヒラメ・タコなどの鮮魚は水揚げ数量、金額とも昨を下回っており、燃油の高騰と併せて大変厳しい状況が続いております。

前浜のイカ漁も不漁が続いておりますが、現在操業しております道東海域、さらには今後の秋イカ漁に、大いに期待しているところであります。

★ 福島漁港の工事等について

今年の福島漁港の工事については、函館開発建設部より福島漁港新港地区波除堤の嵩上げ、護岸の改良、東副防波堤の整備工事が6月23日に発注されました。工期は平成21年3月6日までとなっておりますが、請負業者より「みなと交流館」の使用許可申請がありましたので、昨年同様、事務所として使用許可をいたしました。

なお、本議会に「さけ、ます孵化場整備事業」に係る用地確定測量の調査委託料の予算を補正計上しております。

★ 治山事業について

町発注の治山工事は7月23日に発注し、9月末の完成を予定しております。

また道発注の小規模治山工事は、吉野地区と館崎地区の2箇所が10月末の発注予定となっております。

★ 町有林造成事業について

6月に福島町森林組合へ下刈、除間伐、枝打ち、野鼠駆除などを委託しておりますが、作業は計画通りに進められております。

★ 林道災害復旧事業について

7月中旬に発生しました「その他林道日向線地すべり」の調査測量設計委託につきましては、8月22日に発注して、現在、測量調査中であります。

★ 農産物の生育状況について

今年は春先の低温に加えて6、7月の長雨があり、農作物に与える影響が心配されましたが、その後好天が続いたこともあって農作物は順調に生育をし、順次、収穫されております。

水稲につきましては、試験栽培2年目となる古代米（黒米）を含め順調に生育しており、豊作を期待しているところであります。

★ 千軒そばの花鑑賞会について

福島町千軒地域活性化実行委員会主催による第7回『千軒そばの花鑑賞会』が、8月31日に満開のそば畑で開催され、町内外100人以上の来場者は、松前神楽奏上やジャガイモ塩煮食べ放題などを堪能し、楽しい一日を過ごしておられました。

★ 日曜朝市について

5月より毎週日曜日に開催しておりますが、8月10日のお盆朝市、8月17日の朝市では2日間で600人近い来客があり、新鮮な野菜と鮮魚、また新しく取り組んだパンの試食・販売などが町民に大好評で、売上げを順調に伸ばしております。

★ 「横綱の里づくり」の推進について

7月20日に第10回千代の富士杯争奪小中学生相撲大会や渡島中学校相撲大会・北海道中学校相撲大会予選会が鏡山公園相撲場を舞台に開催され、多くの選手や観衆を集めて熱戦が繰り広げられました。

また8月5日からは、恒例となった九重部屋の夏合宿が23日まで行われ、横綱記念館で朝稽古の見学入館を実施しました。

さらに、8月13日の「やるべ福島イカまつり」は、快晴の中、海上

自衛隊函館基地隊の協力による掃海艇「さくしま」の体験航海と船内の一般公開も開催され、午後からのイベントには夏合宿中の九重部屋力士も参加したほか、夜には、町内外の皆様の協賛による花火大会が行われるなど、お盆で帰省中の方や町内外の多くの方々に夏のひとときを楽しんでいただいたところであります。

今後も、町のいろいろな素材や特色を最大限に生かしながら、こうした各種事業の展開をはじめとして、「横綱の里ふくしま」のアピールに努めてまいります。

★ 津軽海峡祭への参加及び24時間テレビへの協力について

8月30日、31日の両日、青函の大学生が中心となって企画し、青函交流と市民参加を目的とした「津軽海峡祭」が青森及び函館の両フェリーターミナルを会場として開催されました。

当町からも「いかす海峡するめ」や「いかめし」、昆布などの特産品販売とPRのため、青函の両会場に出展し参加してまいりました。

また、8月31日には日本テレビのチャリティ番組「24時間テレビ 愛は地球を救う」の中で、泳いで津軽海峡を渡り当町に上陸するシーンが全国中継される予定であったことから、観衆や交通などの混乱を避けるため、当町職員も松前警察署員とともに会場周辺の警備等に協力いたしました。残念ながら途中断念となりましたが、待ち受けていた観衆にタレントの方々には感謝の意を示してくれたところであります。

★ 観光ガイドの収録について

公立はこだて未来大学では、今までとは異なる新しい観光ガイドとして音楽用携帯端末のアイポッドを利用し、必要な時と場所で音声と映像による観光ガイドが視聴できるサービスの提供に取り組んでおります。

こうしたなか、当町の観光施設や自然・景観などについて、公立はこだて未来大学の学生と観光ボランティアガイドや福島町史研究会などの関係者13名の協力を得て、7月16～17日に映像と音声の収録が行なわれたところであります。

現在、学生により映像等の編集作業が続けられており、今後、当町のホームページに登載して当町に関心を持たれている方などへの情報提供に活用されることを期待しております。

★ 建設事業について

釜谷川・月見川河川改修工事は、6月中旬に発注し現在施工中であります。

丸山団地町営住宅建替事業のうち、小公園整備工事は8月下旬に発注し、現在施工中であります。また、町営住宅解体工事につきましては、6月下旬に発注し8月下旬に完了しております。

次に、函館土木現業所発注による、現在町内で施工中の工事は、道道岩部渡島福島停車場線法面对策工事として、女郎岬地区は7月初旬に、日の出地区は8月初旬に発注され、現在施工中であります。また、急傾斜地崩壊防止事業の豊浜地区法面对策工事は、8月初旬に発注され、現在施工中であります。また、吉野地区の越波防止対策については、現在吉岡漁港で消波ブロックの製作中であります。

福島川改修事業の吉田橋架け換えに係る月崎側の用地、補償物件調査業務につきましては、函館土木現業所において8月初旬に完了し、北海道において事業費調整を行い、認可がおりたとの報告を受けましたので、今議会中に追加議案として補正予算計上を予定しております。

また、函館開発建設部では、仮橋設置に係る用地調査業務を8月下旬に終了し、9月以降に補償物件調査業務を発注予定との報告を受けております。

★ 水道事業について

千軒地区減圧弁及び配水管取替工事は、6月下旬に完成しております。

日向地区配水管取替工事につきましては、6月下旬の発注で9月11日に完成しております。

また、6月中旬に発注したメーター器改良工事と、8月下旬に発注した三岳ポンプ室2号送水ポンプ取替工事については、現在施工中であります。

★ 英語指導助手（AET）の招致について

国際社会に対応した教育の一環として、幼児・児童生徒・町民の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、語学指導を行う外国人招致事業のAETを平成14年度より実施しておりますが、7月にスティーブン・メイヘッド氏が3年間の契約期間を満了し、後任として同じ英国からレケ・オジウム氏を8月より招致しております。

★ 友好市町との交流について

友好市町交流事業として、長野県木曾町（旧木曾福島町）から7月28日から31日までの日程で中学生8名・引率者2名を受け入れ、地元中学生との学習交流が行われました。また、長崎県松浦市（旧福島町）には8月8日から生徒4名を派遣し、3泊4日の日程で無事に交流を終了しております。

★ 学校の耐震化推進について

町内小中学校の耐震化推進に向けた道教委モデル事業が決定され、8月4日に1次耐震診断のため道教委の技術職員が来町し、現地調査のうえ計算ソフトなどの説明と技術指導が行われました。なお、調査結果が判明次第、耐震化計画を進めてまいります。

★ 平成20年度福島町成人式について

去る8月14日、福島町成人式が福祉センターで挙行されました。今年度の新成人対象者は83名で、そのうち58名が出席し、来賓や保護者も多数出席の中、厳粛なうちに終了いたしました。

なお、成人式の前日、実行委員会主催により福島大神宮で開催された成人祭には54名が出席し、古式ゆかしい加冠の儀等の伝統行事が行われました。

以上で、平成20年第1回定例議会6月会議以後の行政報告を終わります。

なお、本定例議会に提案の議案は、条例の整理及び一部改正が2件、規約の変更に関する協議が1件、予算案が5件、決算認定が5件、財政健全化判断比率の報告が1件、教育委員会委員の任命同意が3件、計17件のご審議をお願い申し上げます。

議案の内容につきましては、後ほど担当課長等から詳しく説明させていただきますので、ご審議のうえ議決賜りますようお願い申しあげ、行政報告を終わらせていただきます。

## 行政報告（追加）

### ★ マグロ延縄漁業について

去る9月7日、当町のマグロ延縄漁船1隻が青森県西部海区漁業調整委員会指示によるマグロ延縄操業制限区域を越えて操業したとして、洋上で青森県漁業取締り船の事情聴取を受けたとの報告が漁業協同組合よりありました。

翌日、マグロ延縄部会長ほか14名が来庁して、状況説明に加えて、安心して操業が出来るよう要請があり、9月9日には渡島支庁産業振興部長ほか2名が来町して、マグロ延縄部会との協議がなされたところであります。

当該操業制限区域は、平成14年に青森県西部海区漁業調整委員会と北海道側との間で合意を得ない中で発動されており、北海道としては認められないとの抗議を現在まで行ってきたものの、漁業法上は有効であるとしており、地元漁業者のことを考えると、現時点での早期解決には困難が予想されますが、一日も早い安全操業の確立を図るべく青森県側との協議をされるよう、北海道に対して強く要請したところであります。

また、9月11日には別のマグロ延縄漁船1隻が違反操業であるとして、青森県漁業取締り船の事情聴取を吉岡漁港で受け、その際、マグロ延縄部会員と取締り船乗組員との間でトラブルが発生しております。私としても、誠に残念な思いをしておりますが、今後、一日も早く漁民が安心・安全な操業ができるよう、漁業協同組合と連携して関係機関との協議対応に努めてまいりたいと考えております。